

令和4年度学校評価報告書

令和5年3月31日

北海道教育委員会教育長 様

北海道苫小牧東高等学校長 印

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1 校風・伝統を継承しつつ、胆振東部の中心校として、生徒や保護者・地域の期待に応える。
2 生徒一人一人の進路実現を目指した、効果的な進路指導の実践。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程・学習指導	生徒の主体的な学習態度の育成と定着、及び学習意欲の向上に関しては、より効果的な手立てを考える必要である。 適切な観点別評価にかかる研修を継続的に行う必要がある。生徒の目的意識を高めるために、シラバスの簡略化を実施することができた。	教育課程、学習指導においては適切な取組をされている。 学ぶ喜びや学びに対する主体性をしっかりと持たせる指導をお願いしたい。 ICT活用の研修を深め、主体的・協働的・対話的な学びを工夫するように願う。
改善方策	BYODを推進し、学びの個別最適化と協働的な学びをさらに充実させる。生徒の学習習慣確立に向けた方策を検討する。教科横断的な学習活動や総合的な探究の時間などを効果的に組み合わせ、生徒の多面的な成長を促す。	
生徒指導	日常の面談等を密に行い、生徒の変化や悩みに気づき、寄り添う指導体制を整えることができた。 生徒の話し合いにより売店の取り扱い物品・使用ルールを決めることができた。今後も、様々な分野で生徒の自主性・自律性の涵養に資する方策をとる必要がある。	本校の「自主・自立」の精神をしっかりと継承させて欲しい。長期コロナ禍の生徒に及ぼす影響は、人間関係や心身の健康にも現れていると思うので、教員間・保護者・関係機関と連携した支援をお願いしたい。
改善方策	地域・保護者・関係機関との連携も密にしながら、生徒の自主的・主体的な判断能力を育成する方策を立てる。	
進路指導	授業を基本に、課外講習、面接指導、小論文指導を計画的に実施し、生徒の進路希望実現を組織的に支援することができた。その結果、4年連続国公立合格者100名超を達成した（今年度は121名）。 外部の説明会に積極的に参加するなど、情報収集に努め、生徒や保護者に還元することができた。	ここ数年の進学実績は素晴らしいと思うが、国公立の数にこだわらず、生徒の希望を大事にした進路指導をお願いしたい。 生徒の主体的な進路への取組に期待する。
改善方策	生徒の自主的な学習態度の育成を進め、授業と課外学習の効果的な融合を図る。	
健康・安全指導	生徒を諸行事に積極的に参加させる雰囲気醸成し、心身の健康を促進させることができた。保健便りを活用するなどして、生徒の健康・安全意識を向上させることができた。	各種学校行事・生徒会行事を通じ、精神面を含めた健康についての意識高揚を図って欲しい。 スポーツ部のボランティアの報道がなされた。頼もしく感じる。
改善方策	コロナ禍で制約のあった生徒会・その他の行事を徐々に平時に戻すなど、生徒の自主的・主体的な取組を推進し、心身の成長や健康安全に関する意識の涵養を図る。	
公表方法	学校のHPに掲載するとともに、PTA総会で資料を配付する。	

3 添付資料

- (1) 令和4年度自己評価書
- (2) 令和4年度学校関係者評価書
- (3) 令和4年度北海道苫小牧東高等学校保護者評価集計結果

# 令和4年度 自己評価書

学校名	北海道苫小牧東高等学校(全日制)
-----	------------------

## 1 本年度の重点目標

- 1 校風・伝統を継承しつつ、胆振東部の中心校として、生徒や保護者・地域の期待に応える。
- 2 生徒一人一人の進路実現を目指した、効果的な進路指導の実践。

## 2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	学習指導要領及び医進類型に対応した教育課程の編成・整備を行う。	A	A	観点別評価に係る評価を継続し、新教育課程を適切に実施する。生徒の学習により資するために簡略化したシラバスについて、来年度検証する。
		シラバス(学習の手引)を作成し、生徒の目的意識の明確化を図る。	A	B	
	各教科等の授業の状況	主体的・協働的な学習態度の育成を図り、社会で役立つ学力の向上に努める。	B	B	
		年間計画に基づき、総合的な探究の時間・LHR・行事を組織的、効果的に実施する。	A	A	
生徒指導	生徒指導の状況	生徒の自主性・自律性を養い、社会生活におけるルールやマナーを守る態度を育成する。	B	B	生徒の自己判断能力を育成するために、生徒自身の気づきや自主的・主体的な改善を根気強く促す。地域・関係機関との連携強化を図る(学習・進路指導も同様)。
		地域・保護者・関係機関との連携を強化し、問題行動の予防、早期発見、早期対応に努める。	B	B	
	主体的な活動及び支援体制の状況	主体的なホームルーム活動及び生徒会活動を推進し、生徒の主体性と協働性を育む。	A	A	
		個人面談及び教育相談の機会を確保し、生徒の自立や望ましい人間関係の構築を支援する。	A	A	
		生徒の些細な変化や悩みに気を留め、学校いじめ防止基本方針に則り、組織的に対応する。	A	A	
進路指導	進路指導の状況	学年・教科・分掌の連携を密にし、組織的・系統的な進路指導体制の確立に努める。	A	A	学年業務と分掌業務を整理し、より効率よく組織的に対応できる協働体制を整える。
		外部の説明会に積極的に参加するなど、情報収集とその活用に努める。	A	A	
	生徒の進路実現のための指導の状況	年間計画に基づき、課外講習、模擬試験、面接指導、小論文指導を実施する。	A	A	
出願時の指導を含む、可否結果に基づいた進路指導の評価及び改善点を職員全体で共有する。		A	A		
健康・安全指導	保健・安全指導の状況	体育活動へ積極的に参加させ、心身の健康を促進するとともに、その大切さを感じさせる。	A	A	コロナ禍で制約のあった生徒会・その他の行事を徐々に平時に戻す。行事等への生徒の主体的な関わりを促し、心身の健康と安全への意識高揚を図る。
		学校保健委員会の活性化と保健便りの活用などにより、生徒の健康・安全意識を向上させる。	A	A	

## 3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導について、BYODを推進し、学びの個別最適化と協働的な学びをさらに充実させる。
- 2 生徒指導について、地域・保護者・関係機関と連携を密にし、問題行動の予防、早期発見、早期対応に努める。
- 3 進路指導について、生徒の自主的な学習態度の育成を進め、授業と課外学習の効果的な融合を図る。
- 4 健康・安全指導について、生徒の自主的・主体的な取組を推進し、心身の成長や健康安全に関する意識の涵養を図る。
- 5 教員の働き方改革を推進し、教員が健康で、意欲的に教育活動に専念できる環境を整える。

# 令和4年度 学校関係者評価書(全日制)

学校名	北海道苫小牧東高等学校全日制
-----	----------------

組織名	学校評議員会
評価者	・学校評議員 5名

## 1 本年度の重点目標

- 1 校風・伝統を継承しつつ、胆振東部の中心校として、生徒や保護者・地域の期待に応える。
- 2 生徒一人一人の進路実現を目指した、効果的な進路指導の実践。

重点目標の適切さ  
 ・生きる力(知・徳・体)の重点目標は、意識付けやすい表現が望ましい。  
 ・良いと思います(3名)。

## 2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
		小項目							
教育課程	教育課程等の状況	学習指導要領及び医進類型に対応した教育課程の編成・整備を行う。	A	A	観点別評価に係る評価を継続し、新教育課程を適切に実施する。生徒の学習により資するため簡略化したシラバスについて、来年度検証する。	A	A	A	A
		シラバス(学習の手引)を作成し、生徒の目的意識の明確化を図る。	A	B					
学習指導	各教科等の授業の状況	主体的・協働的な学習態度の育成を図り、社会で役立つ学力の向上に努める。	B	B	生徒の学習習慣の確立に向けた方策を検討する。教科横断的な学習活動及び総合的な探究の時間・LHR・行事を効果的に組み合わせ、生徒の多面的な成長を促す。	A	A	A	A
		年間計画に基づき、総合的な探究の時間・LHR・行事を組織的、効果的に実施する。	A	A					
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後、ほとんどの生徒が次のステップでさらに学びを深める進路となると思うので、学ぶ喜びや、学びに対する主体性をしっかりと持たせる指導をお願いしたい。</li> <li>・学習指導に向けて、ICT活用の研修を深め、主体的・協働的・対話的な学びを工夫し、推進されるように願う。</li> <li>・教育課程、学習指導においては適切な取組がされていると評価している。</li> <li>・今後、再び、苫小牧東の学力が低下していく様な気がして、不安だ(国の施策の方向性により)</li> </ul>								
生徒指導	生徒指導の状況	生徒の自主性・自律性を養い、社会生活におけるルールやマナーを守る態度を育成する。	B	B	生徒の自己判断能力を育成するために、生徒自身の気づきや自主的・主体的な改善を根気強く促す。地域・関係機関との連携強化を図る(学習・進路指導も同様)。	B	B	B	B
		地域・保護者・関係機関との連携を強化し、問題行動の予防、早期発見、早期対応に努める。	B	B					
	主体的な活動及び支援体制の状況	主体的なホームルーム活動及び生徒会活動を推進し、生徒の主体性と協働性を育む。	A	A	不登校傾向の生徒が徐々に増えており、HR担任、部活動顧問、生徒指導部、教育相談委員会、スクールカウンセラー等が日常的に生徒の情報を共有し、多面的な支援を行うなど、組織的な対応の一層の充実を図る。	A	A	A	A
		個人面談及び教育相談の機会を確保し、生徒の自立や望ましい人間関係の構築を支援する。	A	A					
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の「自主・自立」の精神をしっかりと継承させて欲しい。精神面で弱い生徒も多いので、教員間や他の機関との連携した支援をお願いしたい。</li> <li>・長期コロナ禍における生徒に及ぼす影響は、人間関係や心身の健康にも現れている。一人一人の配慮は困難であるが、保護者・関係機関と情報を共有し、問題解決を図るように願う。少しでも多くの人達とコミュニケーションをとり、共働き、関わりをもつことで、未然防止・早期発見し、事故の迅速な対応を図る。情報モラルについて、専門家による授業・講演を通じて、生徒・保護者・関係機関にも指導していただくよう願う。</li> <li>・不登校生徒の増加が心配だ。寄り添いながらの支援、指導を求める。</li> <li>・いじめの報告はまさに「SNS」の社会問題。今後、力を入れて対応していただきたい。</li> </ul>								
進路指導	進路指導の状況	学年・教科・分掌の連携を密にし、組織的・系統的な進路指導体制の確立に努める。	A	A	学年業務と分掌業務を整理し、より効率よく組織的に対応できる協働体制を整える。	A	A	A	A
		外部の説明会に積極的に参加するなど、情報収集とその活用に努める。	A	A					
	生徒の進路実現のための指導の状況	年間計画に基づき、課外講習、模擬試験、面接指導、小論文指導を実施する。	A	A	進路シラバスや講習の見直しなどを通じ、生徒の主体的な進路実現を意図した進路指導体制を作る。	A	A	A	A
出願時の指導を含む、合否結果に基づいた進路指導の評価及び改善点を職員全体で共有する。	A	A							
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年の進学実績は素晴らしいと思うが、国公立の数にこだわらず、生徒の進路希望を大事にした進路指導をお願いしたい。</li> <li>・生徒の主体的な進路指導への取組みに期待する。</li> <li>・今後も苫小牧東の学力を下げないことを、一番と考えて欲しい。</li> </ul>								
健康・安全指導	保健・安全指導の状況	体育活動へ積極的に参加させ、心身の健康を促進するとともに、その大切さを感じさせる。	A	A	コロナ禍で制約のあった生徒会・その他の行事を徐々に平時に戻す。行事等への生徒の主体的な関わりを促し、心身の健康と安全への意識高揚を図る。	A	A	A	A
		学校保健委員会の活性化と保健便りの活用などにより、生徒の健康・安全意識を向上させる。	A	A					
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学校行事・生徒会行事を通じ、精神面を含めた健康についての意識高揚を図っていただきたい。</li> <li>・心身の不調が、いじめにつながることもある。健全な学校生活が送れる環境作りを図るように願う。</li> <li>・生徒の自己管理能力の育成を図るよう願う。健康的な生活習慣が結びつくよう工夫・配慮し指導されることを願う。</li> <li>・自転車交通事故未然防止に向けて、交通道德の指導強化を図る。</li> <li>・スポーツ等のボランティアの活躍が報道され、頼もしく感じている。</li> <li>・コロナ禍になりご苦労様でした。少しずつ代わっていくのであと少し踏ん張ってください。</li> </ul>								

## 3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導について、BYODを推進し、学びの個別最適化と協働的な学びをさらに充実させる。
- 2 生徒指導について、地域・保護者・関係機関と連携を密にし、問題行動の予防、早期発見、早期対応に努める。
- 3 進路指導について、生徒の自主的な学習態度の育成を進め、授業と課外学習の効果的な融合を図る。
- 4 健康・安全指導について、生徒の自主的・主体的な取組を推進し、心身の成長や健康安全に関する意識の涵養を図る。
- 5 教員の働き方改革を推進し、教員が健康で、意欲的に教育活動に専念できる環境を整える。

評価者の意見等

- ・胆振東部の中心校として、期待に応える学校作りには、上記改善策で良いと思う。
- ・感染症予防対策などの危機管理能力の育成を図る。生徒とともに教職員の体調管理にも配慮して欲しい。
- ・先生方の校内研修が多いと感じる。一方で、生徒の指導を考えると力量を高めて欲しいとも願うが、一人では解決できない。関係機関や地域の力を借り改革を推進するよう願う。業務時間を把握し、合理化、効率化を図るよう願う(勤務時間を意識した働き方)。
- ・生徒の社会的自立を目指した指導を求める。
- ・51についてが一番の願い。少し、国の対応にも変化が見られますが、頑張って支えていきたい。

令和4年度学校評価（保護者による評価）集計結果①

評価の観点	4段階評価平均値			自己評価対応
	2	3	4	
1 本校の校風である「自主・自律」と「文武両道」について、保護者として共感できますか。	昨年	3.5		学校教育目標
	今年	3.4		
2 本校の教育活動は、保護者や地域に信頼される学校づくりを目指した取組になっていると感じますか。	昨年	3.4		学校運営
	今年	3.3		
3 本校の教育活動は、生徒が明確な進路目標を持てるように援助がなされ、主体的無学習に取り組む姿勢を育てながら学力向上を図れていると感じますか。	昨年	3.2		学習指導
	今年	3.2		
4 本校の教育課程（各学年で履修する教科・科目）は、生徒の進路希望実現に対応できるものになっていると感じますか。	昨年	3.4		学習指導
	今年	3.3		
5 本校の生徒指導は、生活習慣の確立や自律性の伸長を生徒自身に促すものになっていると感じますか。	昨年	3.4		生徒指導
	今年	3.3		
6 本校の教員は、生徒や保護者の困りごとに誠実に対応するなど、相談しやすい雰囲気があると感じますか。	昨年	3.4		生徒指導
	今年	3.2		
7 本校の生徒指導は、校内外の事故やいじめ等の問題行動の未然防止に努めていると感じますか。	昨年	3.3		生徒指導
	今年	3.2		
8 本校が配付している、進路に関する資料などは、生徒や保護者のニーズに添ったものになっていると感じますか。	昨年	3.2		進路指導
	今年	3.2		
9 課外講習や面接指導、模擬試験後の面談など、本校の進路指導は、生徒の進路希望実現に対応できるものになっていると感じますか。	昨年	3.4		進路指導
	今年	3.3		
10 本校の学校行事や生徒会活動、部活動は、豊かな人間形成を促すものになっていると感じますか。	昨年	3.4		健康安全指導
	今年	3.3		
11 本校のホームページやPTA広報紙、各種お便りなどは、本校の教育活動の実際や生徒の様子を理解する一助になっていると感じますか。	昨年	3.2		その他
	今年	3.2		
12 本校のPTA活動は、適切に取り組みれていると感じますか。	昨年	3.2		総務
	今年	3.2		
13 本校は、教員が生徒と接する時間を十分に確保したり、働きやすい職場環境づくりを進めたりするなど、働き方改革に取り組んでいると感じますか。	昨年	3.3		学校運営
	今年	3.2		
14 お子様を本校に入学させてよかったと感じていますか。	昨年	3.7		学校運営
	今年	3.6		